

表3 母親の年齢

母親年齢	ケース	コントロール
対象者数	605	1239
17-19	3 0%	8 1%
20-24	43 7%	126 10%
25-29	161 27%	400 32%
30-34	222 37%	486 39%
35-39	150 25%	192 15%
40以上	26 4%	27 2%

複数の子供を期間内に産んだ母親の場合、最も高額な医療費を使った子供の出生児の年齢とした(2児出産91名、3児出産1名)

表4 母親の妊娠期間中の薬剤使用

期間	ケース	コントロール
対象者数	605	1239
全体	513 85%	717 58%
I期	360 60%	511 41%
II期	384 63%	544 44%
III期	499 82%	518 42%

表5 薬効分類別の薬剤使用頻度

	ケース				コントロール			
	全体	I期	II期	III期	全体	I期	II期	III期
A 消化管と代謝作用	74%	32%	37%	66%	41%	21%	20%	24%
B 血液と造血器官	67%	11%	19%	61%	41%	13%	19%	26%
C 循環器系	39%	6%	9%	33%	17%	5%	7%	9%
D 皮膚科用薬	49%	16%	18%	37%	26%	12%	12%	13%
G 泌尿生殖器系	75%	19%	23%	73%	40%	13%	19%	26%
H 全身ホルモン製剤	19%	5%	3%	14%	4%	2%	2%	1%
J 全身用抗感染薬	69%	21%	11%	61%	31%	8%	12%	19%
M 筋骨格系	50%	12%	5%	45%	20%	4%	5%	13%
N 神経系	61%	12%	14%	54%	25%	8%	9%	14%
R 呼吸器系	55%	22%	18%	38%	24%	11%	5%	10%
S 感覚器	18%	9%	7%	6%	9%	5%	2%	3%
V その他	41%	14%	17%	24%	24%	12%	145%	10%

参考(使用頻度 1%未満除く)

A	度数	
単味の制酸剤	219	36%
接触性下剤	178	29%
単味の鎮痙剤と抗コリン剤	158	26%
その他の消化性潰瘍用剤	151	25%
胃腸運動促進剤	145	24%
その他のビタミン製剤、単味剤及び配合剤	139	23%
活性生菌製剤	81	13%
H2受容体拮抗剤	68	11%
ビタミンB6及び／又はB12を配合するB1	60	10%
単味のビタミンC製剤(ビタミンC塩類を含む)	52	9%
浣腸剤	32	5%
単味のビタミンB12製剤	29	5%
その他の胃疾患用剤	22	4%
消化薬(酵素製剤を含む)	20	3%
その他の緩下剤	19	3%
肝疾患用剤、脂肪肝予防剤	19	3%
ビタミンB6製剤(ピリドキシン)、単味剤	17	3%
ビタミンB1製剤単味剤	15	2%
腸管運動抑制剤	15	2%
その他の薬剤を含有する制酸剤	11	2%
プロトンポンプ阻害剤	7	1%
口腔用薬	7	1%
その他のビタミンB1配合剤	6	1%
ヒトインスリン製剤及び類似物質製剤、速効型	5	1%
経口塩類下剤	5	1%
腸内吸着剤	5	1%
カリウム製剤	4	1%
カルシウム製剤	4	1%
ビタミンE製剤、単味剤	4	1%
単味の鼓腸治療剤及び駆風剤	4	1%
鎮痙剤を含有する制酸剤	4	1%

B	度数	
単味の鉄剤	313	52%
合成抗線維素溶解剤	134	22%
全身性止血剤	103	17%
フラッシュ用ヘパリン	89	15%
未分画ヘパリン	59	10%
その他の貧血用薬(葉酸、抗葉酸代謝拮抗剤を	20	3%
低分子ヘパリン	10	2%
その他の血液製剤	8	1%
カリクレインーキニン生成阻害剤	8	1%
その他の抗血栓症薬	7	1%
血小板凝集抑制剤;シクロオキシゲナーゼ阻害	7	1%
血液凝固阻害剤	6	1%
線維素溶解阻害剤	5	1%

C	度数	
強心剤(ドパミン作動薬を除く)	66	11%
コルチコステロイドを含有する局所用痔疾治療	61	10%
カルシウム拮抗剤、単味剤	43	7%
局所用静脈瘤治療剤	43	7%
脳血管及び末梢血管拡張剤(脳血管に作用する	35	6%
不整脈用剤	32	5%
降圧剤単味剤、主に中枢に作用	25	4%
ループ利尿剤 単味剤	15	2%
亜硝酸塩及び硝酸塩	14	2%
降圧剤単味剤、主に末梢に作用	14	2%
コルチコステロイドを含有しない局所用痔疾治	5	1%

D	度数	
殺菌消毒薬	123	20%
単味の局所性コルチコステロイド製剤	100	17%
抗菌剤を配合する局所性コルチコステロイド製	81	13%
皮膚科用局所性抗真菌剤	70	12%
局所性抗菌剤	46	8%
鎮痒剤(局所用抗ヒスタミン剤、麻酔剤等を含	46	8%
皮膚軟化剤、保護剤	30	5%

その他の炎症性皮膚疾患用非ステロイド製剤	16	3%
局所にきび治療用剤	8	1%
その他の創傷治療剤	7	1%
局所性抗ウイルス剤	6	1%

G	度数	
分娩誘発剤(子宮収縮剤を含む)	346	57%
分娩抑制剤	313	52%
婦人科用抗菌剤	98	16%
婦人科用抗真菌剤	87	14%
性腺刺激ホルモン剤(その他の排卵誘発剤を含む)	71	12%
黄体ホルモン剤(G3A、G3Fを除く)	62	10%
局所性トリコモナス用剤	34	6%
黄体ホルモン剤を配合する卵胞ホルモン剤(G 卵胞ホルモン剤(G3A、G3E、G3Fを除	12	2%
婦人科用消毒薬	8	1%
男性ホルモン剤(G3E、G3Fを除く)	6	1%
プロラクチン血症抑制剤	5	1%
	4	1%

J	度数	
注射用セファロsporin系製剤	260	43%
内服用セファロsporin系製剤(坐剤を含む)	204	34%
注射用広域抗菌スペクトルペニシリン製剤	124	20%
マクロライド系製剤及びその類似製品(リンコ	58	10%
内服用広域抗菌スペクトルペニシリン製剤(坐	48	8%
アミノ配糖体製剤	29	5%
内服用フッ化キノロン製剤	28	5%
抗インフルエンザウイルス剤	13	2%
その他の全身性抗菌剤	11	2%
ペネム系製剤、カルバペネム系製剤	8	1%
抗ヘルペスウイルス剤	5	1%

M	度数	
非ステロイド性抗炎症薬、抗リウマチ剤単味剤	271	45%
局所用抗リウマチ薬及び鎮痛剤	78	13%

筋弛緩剤、末梢作用性	33	5%
------------	----	----

N	度数	
非麻薬性及び解熱性鎮痛剤	292	48%
局所麻酔薬注射剤	276	46%
その他の全身麻酔薬	184	30%
抗不安薬(トランキライザー)	93	15%
局所麻酔薬外用	55	9%
吸入麻酔薬	45	7%
麻薬性鎮痛剤	39	6%
非バルビツール酸系、単味剤	23	4%
その他全ての中樞神経系用薬	19	3%
抗てんかん薬	15	2%
パーキンソン病／症候群治療薬	12	2%
SSRI抗うつ薬	7	1%
その他の抗精神病薬	4	1%
麻薬依存症治療剤	4	1%

R	度数	
その他の喘息及びCOPD治療剤、全身性	147	24%
去痰薬	108	18%
咽喉用製剤	101	17%
抗感染薬を含有しない感冒治療剤	92	15%
鎮咳薬、単味剤	92	15%
全身性抗ヒスタミン剤	84	14%
抗感染薬を含有しない鼻用局所性コルチコステ	31	5%
鎮咳薬、配合剤	30	5%
鼻用局所性鼻充血除去剤	24	4%
鼻用局所性抗アレルギー剤	20	3%
ベータ2刺激薬、全身性	18	3%
短期作動型ベータ2刺激薬、吸入剤	10	2%
喘息用抗ロイコトリエン剤、全身性	9	1%
コルチコステロイド剤、吸入剤	8	1%
呼吸器用非ステロイド性抗炎症剤、全身性	7	1%
キサンチン製剤、全身性	6	1%
ベータ2刺激剤とコルチコステロイド剤の配合	6	1%

V	度数	
漢方薬	183	30%
抗炎症用酵素製剤	60	10%
その他治療を目的としない薬剤	31	5%
解毒剤	25	4%
その他の治療用医薬品	7	1%
その他の生薬製剤	2	0%
高カリウム血症／高リン血症用製剤	1	0%
蛋白質補給剤(栄養補給剤)	1	0%

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

学会発表

発表者氏名	演題(title)	発表学会名	開催地	講演日時
赤沢学、小田美沙子、 小原拓、栗山進一	出生直後の高額医療費と 妊娠中の薬剤暴露について	日本薬学会 第134年会	熊本	平成26年3月30日 ポスター発表

厚生労働科学研究費補助金

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

妊婦における医療用医薬品の安全性に関するエビデンスの構築のための
薬剤疫学研究の基盤整備および実践 (H23-医薬-一般-006)

平成 25 年度 総括・分担 研究報告書 (平成 26 年 3 月発行)

発行責任者	研究代表者 栗山 進一
発行	〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害公衆衛生学分野 TEL 022-717-8104 FAX 022-717-8106

